

## 日本ウマ科学会 2024 年度定時総会 議事録

日時 : 2023 年 11 月 28 日 11 時から 11 時 50 分

場所 : KFC Hall & Rooms : KFC Hall

山中庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第 18 条に基づき青木会長が議長となる所、会長が所用で欠席のため、笠嶋副会長を議長に選出。2024 年度定時総会が開催された。なお、議事録署名人に高井伸二・中西信吾両会員を指名した。

議題 I および II が一括上程された。

議題 I 2023 年度事業報告（案）について

山中庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 正会員数は 15 名増加。名誉会員、賛助会員の増減なし。
- 選考委員会を通して奨励賞に 1 名が選考された。
- 出版関係は Journal of Equine Science が 4 号、Hippophile が 4 号それぞれ出版された。
- 学術集会は対面形式で行われ盛況であったが、2 日目に演者の 1 名がコロナウイルス感染症を発症し、臨床委員会招待講演およびシンポジウムは中止された。これらの講演については後日 WEB オンデマンド配信にて 2 か月間公開された。
- 国際交流促進事業に対し 2023 年後期に 2 件の応募があり、共に採択された。
- 広報関係は、ホームページサーバーの安定性を強化し、積極的な情報発信を行った。
- ICEEP12 の 2026 年国内開催に向け、開催組織委員会およびワーキンググループを発足させた。

議題 II 2023 年度収支決算（案）について

半澤会計担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 年会費を支払った正会員の数が微減となり、会費収入が微減。
- 対面形式の学術集会在再開され、参加費収入および企業展示収入が発生。
- シンポジウムの中止に伴い旅費の返納が発生し、雑収入が増。
- 出版経費増に伴い出版刊行事業費が増加。
- 学術集会再開に伴い学術集会事業費が著しく増加。
- 表彰者の増加で表彰事業費が増加。
- ICEEP12 の口座開設と銀行印作製に対し国際学会対応費を執行。
- 第 36 回学術集会の外国人講師への旅費出費が次年度となったため臨床委員会事業費における講師交通費が著しく減少。
- 認定馬臨床獣医師制度会計では受検者の減少により約 9 万円の赤字を計上。

次いで監査報告が行われ、坂東監事から 2023 年 11 月 8 日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題 I および II は原案通り可決された。

議題 III と IV が一括上程された。

#### 議題 III 2024 年度事業計画（案）について

山中庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 表彰関連では、帝京科学大学のリングホーファー萌奈美会員が奨励賞を受賞し、定時総会後に表彰式を開催。
- 出版関係は、例年通り 4 号ずつ発刊予定。
- 新版のウマ用語集が 2024 年初めに刊行予定。本年度新規会員および既存会員の希望者に配布。
- 本年度の学術集会では、新規入会促進策として、一般非会員の参加者全員に年会費なしでの入会特典を付与する。
- 国際交流促進事業については、例年通り前期、後期に分けて募集。
- 認定馬臨床獣医師関係は、本日実施予定の試験に 2 名が申し込みを実施。認定取得して 5 年が経過した者の更新手続きを本年度 12 月に実施予定。
- 2026 年に日本で開催される予定の ICEEP12 について、開催組織委員会およびワーキンググループとして活動予定。

#### 議題 IV 2024 年度収支予算（案）について

半澤庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下の通り。

- 会費収入は前年度末（10 月 31 日）における国内の会員数の 95% が支払うことを想定し、837 名が 5,000 円納めることとし 4,180,000 円。海外会員 1 名 7,000 円を加えた 4,187,000 円を収入として計上。賛助会員は 20 社 21 口として 1,050,000 円を計上。
- 学術集会参加費収入は、10 月 31 日現在の申込者 178 名の 1.1 倍を想定し、196 名参加と考えすべて一般会員とカウントし 1,176,000 円として計上。
- JES 別刷り手数料の廃止に伴い、著者負担金を減額。
- 事務担当従事員の 1 名増に伴い人件費増額。
- 一般非会員学会参加者へ会員特典を付与する施策および新ウマ用語集刊行に伴い、印刷製本費と通信運搬費を増額。
- 本年度の学術集会における特別講演および臨床委員会招待講演講師への旅費支出に伴い、講師交通費をそれぞれ増額。
- 褒賞受賞者減のため、表彰事業費を減額。
- ICEEP12 の大会ロゴ作成費用を国際学会対応費に計上。
- 認定馬臨床獣医師会計の収入は前年度の数字を参考に 6 名受験として受検料収入

90,000 円を計上。ほか、更新対象者 103 名の 7 割が更新を行うと仮定し、更新料収入を 505,000 円計上。一方、更新作業の追加により事業管理費を増額。

その後、議題ⅢとⅣは原案通り可決された。

#### 議題Ⅴ 役員の改選について

山中庶務担当常任理事より、2024-2025 年度の役員、評議員、その他委員会委員候補者の選考結果が報告され、原案通り可決された。

#### その他

林正樹会員より、来年日本で開催されるアジア競馬会議に本学会が関わる可能性はあるかどうかの質問があった。これに対し山中庶務担当常任理事より、本学会へシンポジストの推薦等の相談があれば検討を行う考えであると返答した。

以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2023 年 12 月 11 日

議 長

望 岐 快 (同) 

議事録署名人

高 井 伸 二 

議事録署名人

中 西 信 吾 